

### 第2号 育苗初期・本田準備編

庄内総合支庁 農業技術普及課  
Tel. 0235-64-2103

◎催芽はハト胸状態になるまでしっかりと！

◎マルチ除去・・・迷ったら剥ぐ！！

4月3日仙台管区气象台発表の山形県の季節予報では、向こう1か月(4/5~5/4)の気温の高い確率は60%で、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。**ハウス内、トンネル内の気温が急に高くなる**ことを想定しながら管理しましょう。苗の良し悪しが、初期生育はじめその後の管理にも大きく影響します。

#### 1 催芽～播種

芽の長さ 1mm 程度

①通常は 30~32℃・20 時間程度で催芽完了となります。

今年は、長かった昨年より数時間～半日程度短いようです。

このため、芽切れの状況を確認しながら、ハト胸状態の粃(図1)

が 90%程度になるまでしっかりと催芽しましょう。

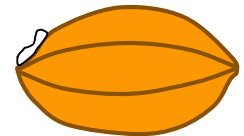


図1 ハト胸状態

◆ただし芽の損傷や播種トラブルを防ぐため、伸ばしすぎには要注意。

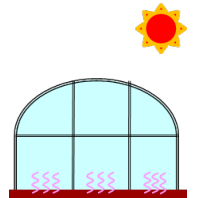
②覆土の厚さは、床土使用の場合 5~7mm 程度(育苗マット使用の場合は 10mm 程度)にします。覆土が厚すぎると出芽の揃いが悪くなり、床土が薄すぎると保水力が低下するので注意しましょう。

③播種時、床土や育苗マットには十分に灌水しましょう。

#### 2 置床後の管理(無加温出芽の場合)

出芽期：『迷ったら剥ぐ』

出芽を順調にするために、置床の 2~3 日前からハウスやトンネルを閉めて苗床の地温を高めておきましょう。



①温度管理の目安は昼夜 30~32℃です。

②マルチを剥ぐタイミングは、ハウス育苗で 2.5cm (0.8 葉)、トンネル育苗で 3.0cm (1.0 葉)です。剥ぐタイミングがこれより遅いと軟弱徒長苗になるので、遅れないようにしましょう。

③出芽までに時間がかかるとカビが発生しやすくなるので、気温が低い日はハウスやトンネル内の保温に心がけましょう。

緑化期：~ 1. 0 葉期

①温度管理の目安は昼間 25℃夜間 15℃です。

②強い日射が当たらないように被覆資材等を活用し、2 日程度かけて徐々に緑化します。

硬化期：1. 5 葉期~

①温度管理の目安は昼間 15~20℃夜間 8℃以上です。晴れた日は朝 8 時までにハウス・トンネルを開放しましょう。

②ハウスやトンネル内の気温は高くなりやすいので、大きく開放しましょう。それでも気温が高くなる場合は、ハウスを被覆できる遮光資材を活用しましょう。ただし、遮光資材を掛けっぱなしにすると苗が軟弱になってしまうので、天気に合わせて掛け・降ろしましょう。

③灌水は、朝(地温が低いうち)に 1 回、十分な量を施します。

表-1 苗生育段階ごとの管理

生育段階	所要日数	昼間	夜間	管理の目的・ポイント
出芽期 (ハウス ~0.8葉) (トンネル ~1.0葉)	無加温 6日程度 加温 2日程度	30~32℃		左記葉数になったら速やかに被覆資材を剥ぐ。無加温では、出芽を揃えるために保温資材で部分的に被覆するなど、こまめな温度管理を行う。
緑化期 ~1.0葉	3日程度	25℃	15℃	遮光資材等を用い、弱い光で苗を徐々に緑色にする。
硬化期 1.5葉~	移植前日まで	20~25℃	8℃以上	苗を外気に慣らす。低温時以外は被覆資材を用いない。田植え1週間前頃からは夜間もハウスやトンネルを開放し、更に外気に慣らす。

**◎要注意!! 耕起同時施肥は耕起同時溶出してます**  
**◎作土深確保⇒根域拡大・根量増大⇒登熟向上!**

### 3 乾土効果の促進

耕起終了から代かき開始までの間、作土の乾燥が進むほど乾土効果が高まり、イネの初期生育が確保しやすくなります。早目に耕起を行い、乾土効果を促進しましょう。  
 ただし、耕起同時施肥は、耕起と同時に肥料分の溶出も始まります。特に基肥一発施肥では穂肥分の緩効性成分の溶出も始まり、稲の生育とのズレが懸念されます。

### 4 十分な作土深を確保しよう

根域拡大・根の活力維持、土壌の養分保持力の増強のためには、十分な作土深が必要です。また作土深が深いほど、精玄米粒数歩合が高まります(図2)。  
作土深は 15cm 以上を目標とし、耕起作業は時間をかけて深めに行いましょう。

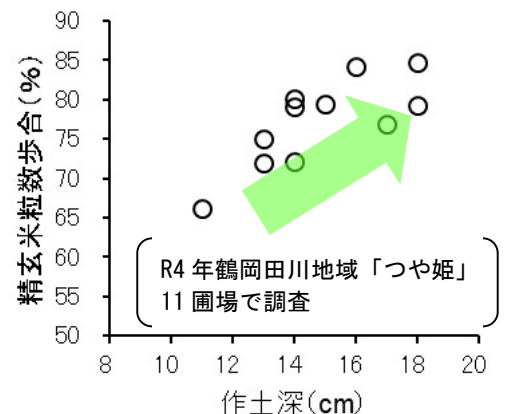


図2 作土深と玄米粒数歩合

### 5 堆肥や土づくり資材を施用しよう

堆肥または土づくり資材を施用することで、土壌の通気性や養分保持能力が向上し、水稻には高温・低温・日照不足等の異常気象やいもち病等に対する抵抗力が高まります。

**「スマートつや姫」を使ってみよう!**

#### スマホであなたの1筆ごとの稲の生育状況と生育予測がわかる

主な機能(対応品種)

- ①食味・収量点検マップ(つや姫) <今が使い時、令和6年産の収量、食味の改善点を見つける>
  - ②適期作業カレンダー(はえぬき、つや姫、雪若丸、ひとめぼれ、コシヒカリ、あきたこまち)
  - ③穂肥診断マップ(つや姫、はえぬき、雪若丸)
  - ④刈取適期診断マップ(つや姫)
- 詳しくは最寄りのJAまたは農業技術普及課へ

「つや姫」の穂肥診断だけじゃない  
 適期作業カレンダーは使い勝手“大”

**STOP! 農作業事故** >>>農作業事故防止運動春季強化期間 4/1~6/10<<<

農機始業前点検

トラクター・田植え機の転倒・転落防止